

第4回
姉妹自治体交流表彰
（総務大臣賞）

受賞団体事例紹介

平成22年5月31日

総務省

財団法人自治体国際化協会

姉妹自治体交流表彰の概要

1 事業の目的

本表彰事業は、日本の自治体と海外の自治体との姉妹自治体提携に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富み、地域の振興に資するような取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、姉妹自治体交流の更なる活性化を図り、もって、地域の国際化に資することを目的に、平成18年度から毎年度実施しております。

2 主催

総務省、財団法人自治体国際化協会

3 表彰対象

先進性や独自性、継続性、活発性、協働性、成果等の面から優れた姉妹自治体交流の取組を行っている、都道府県、政令指定都市、その他の市区町村、地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体を対象とします（いずれも各都道府県、政令指定都市から推薦を受ける必要があります。）。

4 賞の内容

総務大臣賞 3団体以内

審査委員特別賞（その他、審査委員会特別賞を授与する場合があります。）

5 応募・審査

都道府県及び政令指定都市から推薦を受けた団体について、別途設置している「姉妹自治体交流表彰審査委員会」（座長：中邨章 明治大学政治経済学部教授）における審査を経て、総務省及び財団法人自治体国際化協会が受賞団体を決定します。

⇒第4回表彰事業では、21団体から応募があり、厳正な審査の結果、以下の3団体を「総務大臣賞」として決定しました。

【総務大臣賞】 鹿追町（北海道）、京都府、北九州市

6 その他

次回第5回の表彰は、平成22年7月以降に各自治体（国際交流担当課）を通じて募集する予定です。詳細は、以下のお問い合わせ先まで御連絡ください。

【問い合わせ先】

財団法人自治体国際化協会 交流支援部交流親善課

住所：〒102-0083 東京都千代田区麹町1丁目7番 相互半蔵門ビル6階

電話：03-5213-1723 FAX：03-5213-1742 E-mail：shimai@clair.or.jp

URL <http://www.clair.or.jp/j/simai/commendation/index.html>



総務大臣賞



鹿追町(北海道)

提携先:ストニィ・プレイン(カナダ)

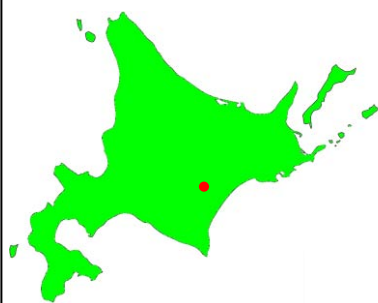
提携年月日:1985年8月26日



国際姉妹都市カナダ・ストニィ・プレイン町との交流推進事業

地域の概要

鹿追町



- ◇人口: 5,707人 (H21.3.31)
- ◇面積: 402.86 km²
- ◇概要: 北海道・十勝支庁管内の北西部に位置。農業(畑作、酪農が盛ん。ビート、ジャガイモ、豆等を生産する。)を産業の中心とする町。町内には、東部・大雪国立公園を抱え然別湖など雄大な自然を有している。

ストニィ・プレイン



- ◇人口: 10,544人
- ◇面積: 35.61 km²
- ◇概要: カナダ・アルバータ州・州都エドモントンの西17kmに位置。カナダ全土から芸術家が集まり、街を屋外絵画(家の壁や塀)や屋外彫刻で飾り立てていることで有名な自治体。1892年に最初の開拓が始まり急速に発展した若い町で、産業は、輸出向けの農業等が中心となっている。

交流事業の概要

- 国際化時代に即して、町民の国際感覚の醸成と国際間親善交流の推進を願っていた鹿追町であったが、1982年に北海道からストニィ・プレイン町の紹介を受け、両町交流のきっかけが作られた。3年間の歳月を経てお互いの思いがひとつになり、1985年に姉妹提携の歴史がスタートした。以来、相互訪問やALTの招致など、着実に交流を重ね、今年で25周年を迎える。
- 次世代を担う中高生を対象に始まった学生の短期留学制度は、1996年度から鹿追高校生1年生全員を対象とした事業に発展、ストニィ・プレイン町と民間団体「日本カナダ友好委員会」の協力により、毎年およそ70名、2009年度までに延べ1000名を超える生徒・引率者がホームステイを経験している。
- また、「国際社会でたくましく生き抜く子どもの育成」を目的に、2003年度より文部科学省研究開発学校の指定を受け、「カナダ学」を新設、町内小・中・高校で一貫した英語教育を行っている。
- 更に、ストニィ・プレイン町との交流から発展した「花と芝生の町づくり」により、全国花のまちづくりコンクール('04)で大賞の「国土交通大臣賞」を受賞、「花のまちづくり国際コンクール」('05)(カナダ・サスカトゥーン市で開催)では最高賞に次ぐ「五つ花」の高い評価を受けるなど、まちづくりに大きく貢献している。

評価のポイント

- ⇒ 教育交流を中心に、極めて息の長い交流を、町をあげて行っている。さらに、その長期間にわたる取組の成果が、学生・住民の英語学力の向上、新たな国際交流団体の設立等、目に見える形で現れてきている。
- ⇒ 姉妹提携先について学ぶと同時に我が町を学ぶ「カナダ学」、「しかおい学」をカリキュラム化して小中高一貫教育に導入する町独自の取組を行っている。
- ⇒ 姉妹提携先から「花のまちづくり」の手法を学び、それを地域のまちづくりに積極的に活かしている。
- ⇒ 町単独で高校1年生全員の姉妹提携先短期留学を継続実施している等、姉妹交流から学び、町の発展につなげようとする町の姉妹交流に対する熱意が伝わる取組と言える。



ストニィ・プレイン町役場の壁画
(鹿追町友好壁画)



鹿追公園
(ストニィ・プレイン町内)



ストニィ・プレイン町訪問団との交流
(鹿追小～訪問団へのインタビュー)



鹿追高校カナダ短期留学
(日本文化紹介～日本舞踊)



ストニィ・プレイン訪問団との交流
(笹川小御神楽)



美しく花で飾られたストニィ・プレイン通り
(鹿追町内)

【問い合わせ先】

北海道鹿追町企画財政課企画係

住所：〒081-0292 北海道鹿追町東町1丁目15番地1

電話：0156-66-2311 FAX：0156-66-1020

E-mail: seisaku@town.shikaoi.hokkaido.jp

URL <http://www.town.shikaoi.hokkaido.jp>



総務大臣賞



京都府

提携先:ジョクジャカルタ特別区
(インドネシア共和国)

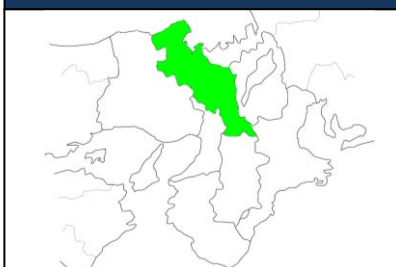
提携年月日:1985年7月16日



京都府ジャワ島地震復興支援事業

地域の概要

京都府



◇人口:2,645,132人(H21.3.31)

◇面積:4612.71km²

◇概要:京都府は、日本列島の丁度真ん中くらいのところに位置。千年にわたって培われてきた歴史的遺産は日本の心のふるさとと呼ばれるにふさわしいものである。歴史とともに、伝統産業が今なお伝承されているのみならず先端産業も盛んである。また、人口10万人当たり大学等の数が日本で一番多い大学の街でもある。

ジョクジャカルタ特別区



◇人口:3,120,000人

◇面積:3,185km²

◇概要:ジャワ島中部にあり、首都ジャカルタから飛行機で1時間の距離にある。古い歴史と伝統を誇り、国内の教育・文化の中心地でもある。ジョクジャカルタは、インドネシアの古都と呼ばれ、ボロブドール寺院やプランバナン寺院等の世界遺産やガムラン音楽等の伝統芸能が有名である。主な産業は、農業で、工業は、伝統的な手工業(パティック=ろうけつ染め更紗、銀細工など)が中心である。

交流事業の概要

- 京都府では、古都として、伝統的な宮廷文化や歴史的遺産が多くあるなど共通点が多い、インドネシア共和国ジョクジャカルタ特別区と1985年に友好提携を締結し、文化財保護の技術協力や伝統産業交流などを行ってきた。また、国際交流事業の重点化を図るため、昨年、国際交流のアクションプランを策定し、友好提携州省との交流も「友好親善」から時代の変化や府民ニーズを踏まえ、両地域が共に発展するWin-winの交流に結びつけるなど、一層の重点化を図っている。
- このような観点から、最近では、京都の織りや染めとジョクジャカルタのパティックなどの両地域の強みである伝統工芸技術を融合した、新商品開発などのブランド化等の取組などが行われている。
- また、2007年5月に発生したジャワ島地震により被災した伝統的建造物や伝統産地の復興に向け、京都府では、府の文化財修復に向けた技術協力を行うなど「京都ならではの」協力を行うとともに、被災伝統産地の復興に向けた産業振興のための両地域のブランド化と市場開拓を支援するなど双方にとって具体的な成果が出る取組を行ってきた。
- 災害復興に向けて、「困ったときの友こそ真の友」というように復興支援を積極的に行うとともに、さらなる交流の発展の場やお互いの課題解決の場につなげていく取組はインドネシア共和国政府からも模範的な交流として高く評価されている。

評価のポイント

- ⇒ジャワ島地震で被災した姉妹提携先の災害復興支援にあたり、これまで築き上げてきた姉妹交流の基盤や多様なネットワークが力を発揮している。姉妹自治体の枠組みを活かした復興支援活動の範となる取組と言える。
- ⇒単なる災害復興協力にとどまらず、双方にとって課題となっていた伝統産業の振興が図られる、産業面への波及効果が期待できる取組(双方にとってメリットの享受できるWIN-WINの効果が見込まれる取組)となっている。



友好提携 20 周年記念事業(西陣織伝統工芸士の技術を見学されるプオノ知事)



震災復興ワークショップ



西陣・パティック小物(双方産学官のコラボレーション作品:「てこらぼ」と命名)



祇園町南側の町並み保存研修(文化財の修復やまちづくりリーダー育成のための研修)



日本でのてこらぼ展示会



ジョクジャカルタでのてこらぼ展

【問い合わせ先】

京都府知事直轄組織国際課

住所: 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

電話: 075-414-4313 FAX: 075-414-4314

E-mail: kokusai@pref.kyoto.lg.jp

URL: <http://www.pref.kyoto.jp/>



総務大臣賞



北九州市

提携先:①大連市(中国)

②仁川広域市(韓国)

提携年月日:①1979年5月1日

②1988年12月20日

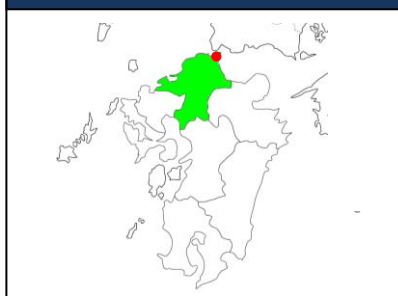


東アジア経済交流推進機構、及びその活動のひとつである共同プロジェクト 「2009 環黄海イヤー」及び「日中韓 10 都市海岸クリーンアップ事業」

地域の概要

交流事業の概要

北九州市



◇人口: 981,200 人 (H21.3.31)

◇面積: 487.66 km²

◇概要: 鉄鋼をはじめ素材型産業をベースに金型、メカトロなど世界的な技術が集積。ひびきコンテナターミナルや北九州空港により、物流や企業誘致でアジアとの連携を強化。一方、公害克服の経験からアジア諸国へ国際協力に努め、2008年に国の「環境モデル都市」の認定を受けている。

大連市／仁川広域市



①大連市(中国)

◇人口: 5,848,000 人

◇面積: 12,574km²

②仁川広域市(韓国)

◇人口: 2,769,278 人

◇面積: 1,010 km²

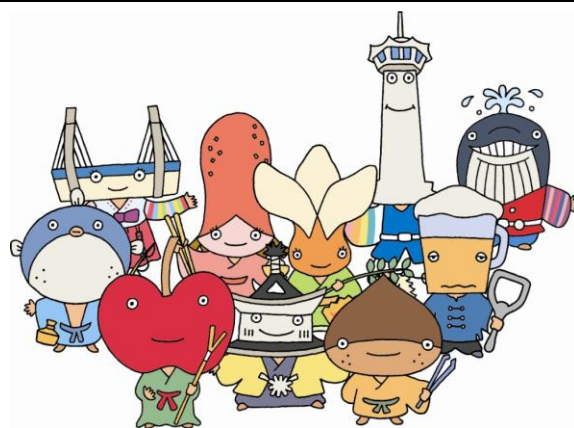
- 北九州市は、港湾の工業都市として性格が類似する大連市、仁川広域市と長年にわたり幅広い交流を実施している。
- 東アジア経済交流推進機構は、北九州市が提唱した「環黄海経済圏」構想のもと、経済交流に的を絞った都市間連携を推進するため、2004年に環黄海圏の日中韓10都市の行政と商工会議所を主体とする経済界が一体となり創設した。
- 経済のグローバル化が加速するなかで、地域が生き残るためには、国際連携を強めながらその特性を活かした地域づくりを強化することが重要と考え、経済交流のプラットフォームとして機能することを狙いとしている。
- 2009年は、世界環境デーの前後の期間に全都市一斉に市民主体の海岸清掃を行う「10都市海岸クリーンアップ事業」(環境部会)、各都市の国際イベントを活用して相互に連続的な観光プロモーションを行う「環黄海イヤー」(観光部会)に取り組み、環黄海地区における環境モデル地区構築、環黄海観光ブランドの創出に向けて新しい一歩を踏み出したところである。
- また、2010年からは、10都市間の貿易・投資を中心とするビジネス環境を相互に改善し、地方版EPAの創設を目指す新規共同事業「環黄海 ACTION」を始めたところである。

評価のポイント

- ⇒ 長年にわたる自らの姉妹自治体間(二都市間)の交流に加え、さらに多様な国際交流の促進・拡大を図るため、他の複数の姉妹自治体を取り込んだ「東アジア経済交流推進機構」を同市が中心となって設立・運営し、そこを基盤に、共通の利益に関わる幅広い分野での国際交流事業を実施している(友好親善から課題解決型の交流、二都市間(線)から多都市間(面)の交流への発展系として今後の姉妹交流のモデルとなりうる事例)。
- ⇒ 海を共有している同機構各都市の市民が海岸清掃を一斉に行うクリーンアップ事業は、今日的な課題であるゴミ問題を、各都市の国際的な連携により解決を図ろうとするものとして、先駆的な取組と言える。



東アジア経済交流推進機構 環境部会共同プロジェクト 「10都市海岸クリーンアップ事業」



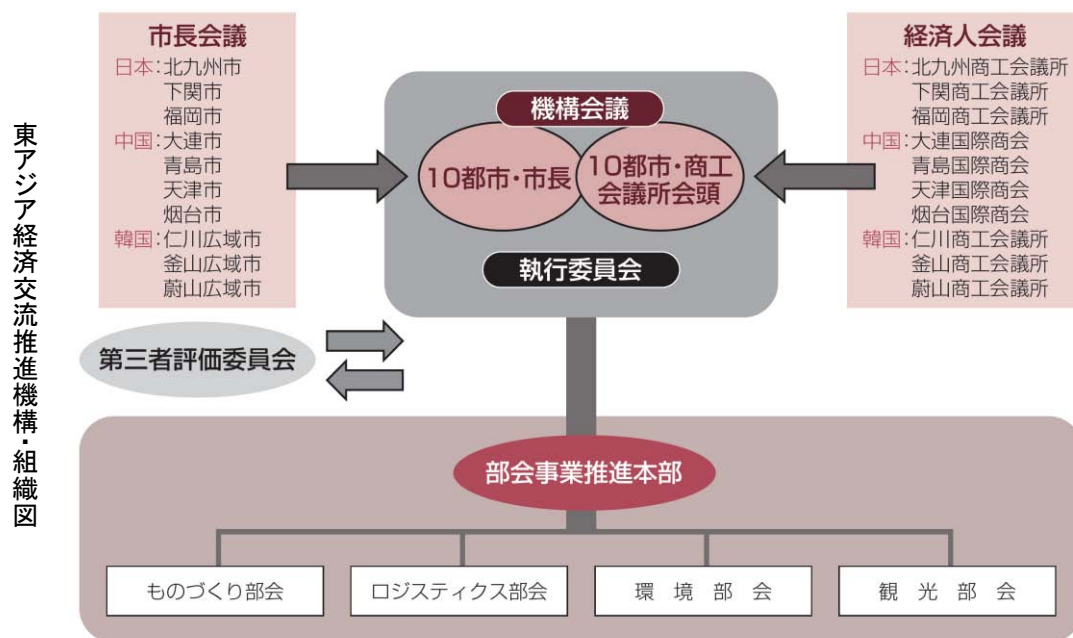
東アジア経済交流推進機構
会員 10都市観光キャラクター



東アジア経済交流推進機構 観光部会共同プロジェクト「環黄海イヤー2009」キャンペーン



東アジア経済交流推進機構
第3回総会(市長・会頭会議)



【問い合わせ先】

北九州市企画文化局国際部アジア交流課
住所: 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1
電話: 093-582-2162 FAX: 093-582-2176
E-mail: ki-asia@city.kitakyushu.lg.jp
URL: <http://www.city.kitakyushu.jp>